FUJITSU Display

B6FY-4101-03 Z0

補足情報

DISPLAY E22-8T LED

（VL-E22-8T）

DISPLAY E22-8TN LED

（VL-E22-8TN）

DISPLAY E22-8T3 LED

（VL-E22-8T3）

FUJITSU

目次

はじめに 3

1 本製品の特長 5

使用方法 6

2 各部の名称と機能 8

3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール 11

初めて電源を入れるとき 11

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする 11

4 液晶ディスプレイの設定 12

AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時） 12

エコモード機能 12

ボタンロック機能 13

細かい設定を行う 14

5 省電力機能 21

6 トラブルシューティング 22

画面がおかしい 22

画面調整ができない 24

音が聞こえない／変な音が聞こえる 24

7 日常のお手入れ 26

清掃する 26

8 リサイクル 27

9 付録 28

アームまたは壁掛けキットの取り付け方法 28

２台のコンピューターを接続する 31

10 仕様 32

本体仕様 32

標準表示仕様 33

コネクタ仕様 34

外形図 36

はじめに

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■マニュアルについて

・ディスプレイの設置、接続までは『取扱説明書』をご覧ください。
『取扱説明書』の「使用上のご注意」も必ずお読みください。
・画質の設定などの技術情報は、このマニュアルをご覧ください。

■警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⃠	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-E22-8T/VL-E22-8TN/VL-E22-8T3	本製品

■PC リサイクルマークについて （VL-E22-8T3 の場合）

本製品の装置銘板には、PC リサイクルマークが付けられています。PC リサイクルマークが付いた弊社の製品は、弊社専用受付窓口にて無償で回収・再資源化いたします。廃棄・リサイクルについては、「リサイクル」（→ P.27）をご覧ください。

■商標および著作権について

VESA は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2017

1 本製品の特長

1 大画面・高解像度・省スペース

・21.5 型ワイドの大画面です。
・1920×1080 ドットの高解像度で精細に表示できます。
・スタイリッシュな狭額縁デザインを採用しています。

2 ブルーライト／チラツキ低減機能

目の疲れを低減する機能です。
第三者認証機関であるテュフラインランドによるローブルーライト機能およびフリッカーフリー設計の認証を取得しています。

POINT

▶ ブルーライトカットモードに関する注意
このディスプレイには「ブルーライトカット機能」があります。ブルーライトカット機能は OSD メニューで選択できます。「ブルーライトカット」機能を使用すると、ディスプレイからのブルーライトの放射量を最小限に抑えられます。

3 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター／スキャナー／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

POINT

▶ sRGB とは、ディスプレイ／スキャナー／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。
sRGB の設定については、「MODE」（→ P.19）をご覧ください。

4 親切な自動調整機能（アナログ入力のみ）

初めて入力された解像度（モード）でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度（モード）を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

5 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。
このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。

Green
Policy
Innovation

6 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームや壁掛けキットに取り付けることができます。

POINT

▶「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイとアーム、または壁掛けキットを取り付けるインターフェースです。
インターフェースとしては 75mm×75mm と 100mm×100mm の 2 種類があります。
本製品では 100mm×100mm に対応しています。

7 節電機能（エコモード）

エコモードをオンにすることで、電力を約 33%以上削減できます。

8 スピーカー内蔵

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

9 3 系統入力対応追加

アナログ D-Sub とデジタル DVI-D に加えて、DisplayPort の計 3 系統の入力が可能です。

使用方法

ディスプレイを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。ディスプレイをお使いになるときは疲労に注意し、適切な環境で作業してください。

■ディスプレイ

- 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンの取り付けや、画面の向きや角度の調整をしましょう。
- 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ディスプレイの上端が目の位置と同じかやや低くなるようにしましょう。
- ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- 目と画面の距離は、50cm 以上離すようにしましょう。

■使用時間

1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間を取りましょう。そのとき、目の体操やできるだけ遠くを見るようにし、目の疲れやドライアイを予防しましょう。また、休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。

■入力機器

キーボードやマウスは、ひじの角度が 90 度以上になるようにして使い、手首やひじは机、椅子のひじかけなどで支えるようにしましょう。

■机と椅子

高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。

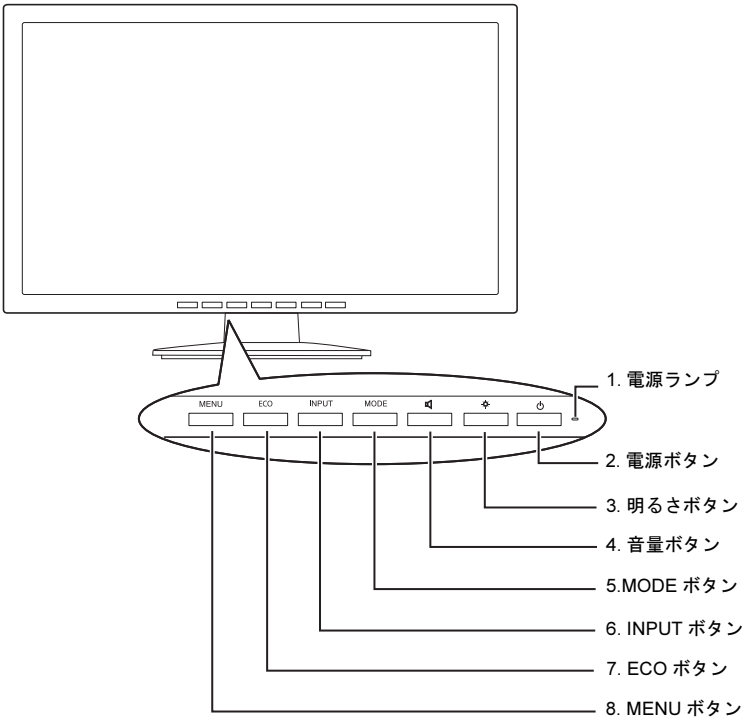
・机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
・椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
・椅子は、背もたれ、ひじかけ付きを使用しましょう。

■作業スペース

・机上のディスプレイの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子のひじかけなどを利用して腕を支えましょう。

2 各部の名称と機能

■前面



1 電源ランプ

本製品の電源状態を表します。

2 電源ボタン（⏻）

本製品の電源オン／オフを切り換えます。

3 明るさボタン（☼）

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、明るさ調整の画面が表示されます。

4 音量ボタン（🔈）

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、音量調整の画面が表示されます。

5 MODE ボタン

メニューが表示されていないときに押すと、画面モード選択画面が表示されます。
メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。

6 INPUT ボタン

メニュー画面上で各項目を変更するときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、入力切換画面（VGA ／ DVI ／ DisplayPort）が表示されます。

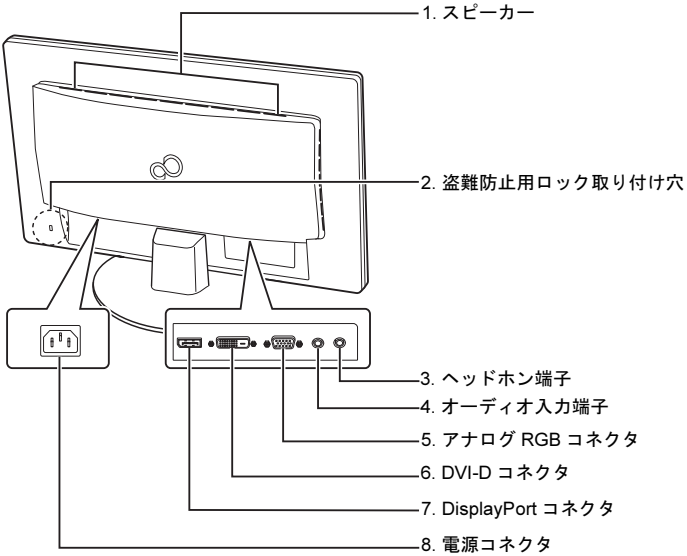
7 ECO ボタン

メニュー画面上で各項目を変更するときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、エコモードのオン／オフを切り換えることができます。

8 MENU ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を選択するときに押します。

■背面



1 スピーカー

音声を出力します。

2 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

3 ヘッドホン端子（ ）

ヘッドホンを接続します。

4 オーディオ入力端子（ ）

コンピューター本体と添付のオーディオケーブルで接続します。

5 アナログ RGB コネクタ（VGA）

コンピューター本体と添付のアナログ信号ケーブルで接続します。

6 DVI-D コネクタ（HDCP 対応）（DVI）

コンピューター本体と添付の DVI 信号ケーブルで接続します。

POINT

- HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI や DisplayPort を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。
  HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
  本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

7 DisplayPort コネクタ（HDCP 対応）（DP）

コンピューター本体と DisplayPort ケーブルで接続します（DisplayPort ケーブルは添付しておりません）。

8 電源コネクタ（POWER）

添付の電源ケーブルを接続します。

⚠注意

- 本製品をご使用中は、不用意に背面ケーブル接続箇所に触れたり、ケーブルの抜き差しを行ったりしないでください。必ず本製品の電源をオフにしてから行ってください。

3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール

初めて電源を入れるとき

コンピューター本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- お使いのOSのINFファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバー（INF ファイル）は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html）よりダウンロードできます。
「ドライバダウンロード」をクリックし、「ディスプレイ INF ファイル / タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

重要

- 本製品の型名は、「VL-E22-8T/VL-E22-8TN/VL-E22-8T3」ですが、「デバイスマネージャー」では、本製品の型名が「E22-8 TS Pro」と表示されますが故障ではありません。

4 液晶ディスプレイの設定

AUTO セットアップアクション機能 （アナログ入力時）

本製品は、次の場合、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。
・初めてディスプレイをコンピューター本体に接続したとき
・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

- AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.33）。
- 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、コンピューター本体で画面の背景を白色に設定してから、自動調整（→ P.16）を行ってください。
- DVI 信号ケーブルでの接続の場合は、AUTO セットアップアクションおよび自動調整は動作しません。

エコモード機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を低減する「エコモード」機能が搭載されています。

■エコモード

エコモードを切り換えるときは、ECO ボタンを押してください。オン／オフが切り換わります。

ECOモードオン ←→ ECOモードオフ

モード名	機能
ECO モードオン （緑色に点灯）	・ご購入時 画面の明るさレベルは最大輝度の約 60% に設定されています。 ・明るさ調整後 最後に設定された最大輝度の約 60% 以下の明るさとなります。 ・消費電力は、約 33%以下低減（最大電力比[注]）できます。
ECO モードオフ （青色に点灯）	・ご購入時 画面の明るさレベルは最大輝度の約 60% に設定されています。 ・明るさ調整後 最後に設定された最大輝度の約 60% 以上の明るさとなります。

注： 通常使用時（スピーカーオフ、USB 接続なし）における最大電力（エコモード「オフ」、輝度およびコントラスト最大）比

重要

- sRGB モードでご使用時は、ECO モードの設定はできません。

ボタンロック機能

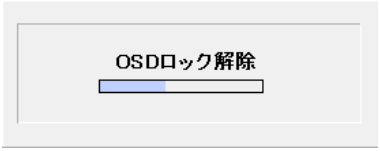
本製品には MENU ボタンと電源ボタンをロックする機能が搭載されています。ボタンをロックすることで、無断で設定を変更することができず、誤操作防止が可能となります（ECO ボタンはロックできません）。

■OSD メニューをロックする

本製品の電源がオンの状態で MENU ボタンと電源ボタンを同時に押すと、OSD ロック画面を表示します。プログレスバーがすべて塗りつぶされると、OSD メニューを表示するボタンをロックします（ECO ボタンはロックできません）。

POINT

- プログレスバーがすべて塗りつぶされる前にボタンを離すと、MENU ボタンのロック操作をキャンセルします。
- MENU ボタンのロックを解除する場合も、同じ方法でボタン操作をします。プログレスバーがすべて塗りつぶされると、MENU ボタンのロックを解除します。また、プログレスバーがすべて塗りつぶされる前にボタンを離すと、MENU ボタンのロック解除操作をキャンセルします。



■電源ボタンをロックする

本製品の電源がオンの状態で、ECO ボタンと INPUT ボタンを同時に押すと、電源ボタンをロックします。

POINT

- 電源ボタンのロックを解除する場合も、同じ方法でボタン操作をします。

細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。

■メニュー画面の基本的な操作

□ボタンの基本機能

MENU ボタン
・ メニュー画面の表示
・ メインメニュー項目の決定

ECO ボタン
メニュー画面が表示されている場合
・ メインメニュー／サブメニュー項目の選択
メニュー画面が表示されていない場合
・ エコモード切り換え

INPUT ボタン
メニュー画面が表示されている場合
・ メインメニュー／サブメニュー項目の選択
メニュー画面が表示されていない場合
・ 入力切換画面表示

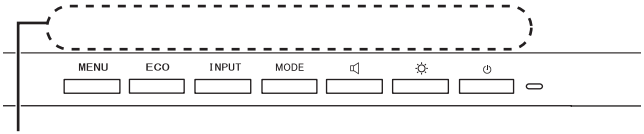
MODE ボタン
メニュー画面が表示されている場合
・ 調整項目の選択
・ 設定値の調整
メニュー画面が表示されていない場合
・ モード切替／調整画面表示

明るさボタン
メニュー画面が表示されている場合
・ 調整値の変更
・ 設定値の選択
メニュー画面が表示されていない場合
・ 明るさの調整画面表示

音量ボタン
メニュー画面が表示されている場合
・ 調整値の変更
・ 設定値の選択
メニュー画面が表示されていない場合
・ 音量の設定画面表示

□ 操作方法

設定を変更するときにそれぞれのボタンを押すと、選択項目が次のように移動します。解像度を変更しても、保存された設定内容で画面が表示されます。



操作時、各ボタンにどのような機能が割り振られているかは、この部分に表示されます。

ボタンのすぐ上に表示される操作アイコンを確認のうえ、ボタンを押して設定を変更してください。それぞれの操作アイコンの機能は、次のようになります。

操作アイコン	機能
↑／↓	メニュー（サブメニュー）の設定項目を選択する
→	・選択したサブメニューを開く ・次の設定に進む ・機能を実行する
←	前の設定に戻る
＋／－	調整値を変更する
✓	各調整値を確定する
↩	・直前のメニュー画面に戻る ・メニュー画面を終了する
×	メニューを終了する

■設定項目の内容

ボタンキーには複数の機能があります。

ボタン	機能
MENU	画像調整（→ P.16）／ OSD（→ P.17）／ 詳細設定（→ P.17）／情報（→ P.18）
ECO（→ P.12）	ECO モードのオン／オフを設定します。
INPUT（→ P.18）	入力信号を選択します。
MODE（→ P.19）	画像モードや色に関する設定をします。
音量（🔈）（→ P.20）	音量を調整します。
明るさ（☼）（→ P.20）	画面の明るさやコントラストを調整します。
電源（⏻）	電源のオン／オフを切り換えます。

■画像調整

□ 調整項目の内容

名称		機能
フェーズ		文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します（VGA 入力時のみ表示）。
水平サイズ		帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します（VGA 入力時のみ表示）。
水平位置		表示画面の水平位置を左右に調整します（VGA 入力時のみ表示）。
垂直位置		表示画面の垂直位置を上下に調整します（VGA 入力時のみ表示）。
自動調整		自動で最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズを調整します（VGA 入力時のみ表示）。
鮮明さ		画面の鮮明さを調整します。
拡張		1920×1200 ドット以下の解像度を拡大するときの方法を設定します。
	フルスクリーン	画面の縦横比を維持しないし最大画面サイズに拡大します。
	アスペクト比を固定	画面の縦横比を保ったまま拡大します（画面上に黒帯が出る場合があります）。

■OSD

□ 調整項目の内容

名称	機能
言語	OSD メニューやメッセージの設定言語を設定します。
タイムアウト	OSD メニューの表示時間を調整します。

■詳細設定

□ 調整項目の内容

名称	機能
オーバードライブ	動画時の画像ボケ改善を有効／無効に設定します（動画モード、カスタムモードでしか設定できません）。
DDC/CI	未対応
工場出荷時の値に戻す	すべての項目をご購入時の設定に戻します。

■情報

□表示内容

名称	機能
Model	現在入力されている解像度、周波数、入力コネクタなどの情報を表示します。
S/N	
Input	
Res	
H-Freq/V-Freq	
Mode/Color	
ECO	
ACR	
OD	

■INPUT

□調整項目の内容

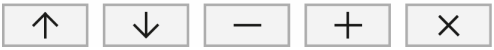
名称	機能
VGA	入力の切り換えを設定します。
DVI-D	
DisplayPort	

■MODE

□ 調整項目の内容

名称		機能
s RGB		色温度を s RGB に設定します。
ブルーライトカット		ブルーライトの放射量を最小限に抑えた目に優しい画面モードに設定します。
オフィス		文書を作成するのに適した画面モードに設定します。
写真		写真を表示するのに適した画面モードに設定します。
動画		動画を表示するのに適した画面モードに設定します。
カスタム		色温度を設定します。 色温度は、K（Kelvin）で測定されます。
	5000 K	色温度を 5000K に設定します。
	6500 K	色温度を 6500K に設定します。
	7500 K	色温度を 7500K に設定します。
	ネイティブ	色温度をパネル固有の値に設定します。
	RGB 調整	主要色（赤、緑、青）の色割合を設定します。

■オーディオ



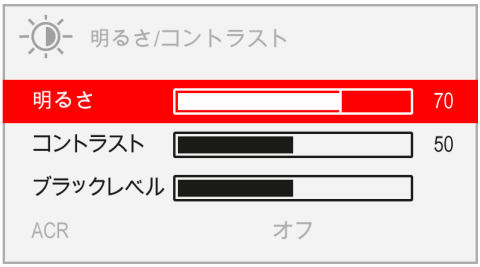
□ 調整項目の内容

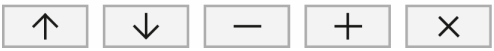
名称	機能
音量	スピーカーの音量を調整します。
ミュート	ミュートのオン／オフを選択できます。
入力	入力オーディオ（ＤＰ オーディオ／ ＰＣ オーディオ）を切り換えます（DisplayPort 入力時のみ表示）。

POINT

▸省電力状態になると、スピーカーからの音声出力が停止します。

■明るさ / コントラスト





□ 調整項目の内容

名称	機能
明るさ	画面全体の明るさを調整します。
コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。sRGB、ブルーライトカットモード時は調整できません。
ブラックレベル	黒色のレベルを任意に設定します。sRGB、ブルーライトカットモード時は調整できません。
ACR	動的コントラストを有効／無効に設定します。動画モード、カスタムモードでしか設定できません。
オートレベル	自動で、コントラストを調整します。VGA 入力でしか調整できません。

5 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。
省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。
本製品は、コンピューター本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。省電力機能については、コンピューター本体のマニュアルをご覧ください。

コンピューター本体の状態	本製品の動作					本製品の消費電力
	画面表示	本製品の電源供給元	電源ボタン	電源ランプ	エコモード	
通常状態	表示あり	コンセント	オン	青	オフ	最大時：21W（オーディオ動作時）
				緑	オン	エコモードオン時：14W
映像出力オフ[注1]	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オフ	省電力動作時：0.2W
スリープ／スタンバイ、または休止状態	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時：0.2W
－	表示なし	コンセント	オフ	消灯	－	0.1W[注2]

注１：コンピューター本体の省電力機能により画面の表示が中断されてから、スリープ／スタンバイ、または休止状態に移行する前の状態です。
注２：電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことにより0にすることができます。

6 トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『取扱説明書』をご覧ください。

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面または明るさ調整画面より明るさを調整してください。	「明るさ/コントラスト」（→ P.20）
画面が暗くなった	エコモードが「ECOモードオン」になっている。	ECO ボタンを押して、エコモードを「ECO モードオフ」に設定してください。	「エコモード機能」（→ P.12）
	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面または明るさ調整画面より明るさを調整してください。	「明るさ/コントラスト」（→ P.20）
	液晶パネル内部の LED が、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換（補修用性能部品単位）させていただきます。詳しくは「故障・修理に関するお問い合わせ先」または購入元にご連絡ください。	『取扱説明書』
画面いっぱいに表示されない	拡張設定が「アスペクト比を固定」になっている。	拡張設定を「フルスクリーン」に設定してください。	「画像調整」（→ P.16）
	画面位置の調整が適切でない（アナログ接続時のみ）。	画面位置の調整を行ってください。	「画像調整」（→ P.16）
画面の縦横比が崩れてしまう	拡張が「フルスクリーン」になっている。	拡張を「アスペクト比を固定」に設定してください。	「画像調整」（→ P.16）
	コンピューターの設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に設定してください。	「標準表示仕様」（→ P.33）
	コンピューターの設定が720×400の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を720×400以外の解像度（モード）に変更してください。	コンピューター本体のマニュアル
格子状の模様が見えないことがある（アナログ接続時のみ）	フェーズが合っていない。	フェーズを調整してください。	「画像調整」（→ P.16）
帯状のしま模様（縦）が見えることがある（アナログ接続時のみ）	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてから、フェーズの調整をしてください。	「画像調整」（→ P.16）

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面がはみ出る(アナログ接続時のみ)	画面位置の調整が適切でない。	自動調整を実施してください。 それでもなお画面がはみ出る場合は、水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「画像調整」(→P.16)
	標準表示仕様以外の解像度(モード)になっている。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.33)
画面が消えることがある	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。	『取扱説明書』
次のメッセージが表示される「規定外の信号です」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューターの設定を標準表示仕様の解像度(モード)に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.33)
文字の太さが場所によって異なる 画面の内容が大きくぼけて表示される	1920×1080よりも低い解像度(モード)になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面にするには「画面の設定」または「画面のプロパティ」で解像度(モード)を1920×1080に設定してください。	コンピューター本体のマニュアル
	フェーズ、水平サイズの調整の調整が適切でない(アナログ接続時)。	水平サイズの調整の調整をしてからフェーズの調整をしてください。	「画像調整」(→P.16)
電源投入直後やコンピューターの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	コンピューターからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	−
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	コンピューター本体のマニュアル
画面を切り換えても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	コンピューターの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は 1 日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	−
表示画面にむらがある(もやもやしている)	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」(→ P.8)
2台以上のマルチディスプレイを表示したとき、両面の色調が若干異なって見える	カラーの設定色温度が異なる。	カラーの色温度を同じに設定してください。	「MODE」(→P.19)
文字がにじんだり、画面がずれたりしている(アナログ入力時)	画面全体が暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	画面の背景を白色に設定してから、もう一度、自動調整を行ってください。	「画像調整」(→P.16)
明るい部分がつぶれたり、暗い部分にノイズが見えたりする(アナログ入力時)		画面上に白色と黒色が表示されている状態にして、メニュー画面よりカラー自動調節を行ってください。	「MODE」(→P.19)

画面調整ができない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
自動調整ができない	画面全体が極端に暗い色を表示している状態で自動調整が行われた。	表示画面全体をできるだけ白い画面にして、もう一度、自動調整を行ってください。	「画像調整」（→ P.16）
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.33）
	デジタル入力でコンピューターと接続している。	デジタル入力でコンピューターと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	「画像調整」（→ P.16）

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「オーディオ」（→ P.20）
	DisplayPort 入力時に「オーディオ」－「入力」で「PC オーディオ」を選択していて、音声入力端子を接続していない。	「オーディオ」－「入力」で「DisplayPort オーディオ」を選択するか、音声入力端子を PC と接続してください。	「オーディオ」（→ P.20）
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、スピーカーボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」（→ P.8）
	コンピューター本体の音量つまみが最小になっている。	適切な音量に調整してください。	コンピューター本体のマニュアル
	コンピューター本体の音量設定がミュートになっている（画面右下の通知領域に と表示されている）。	キーボードの Mute（消音）ボタンを押すか、画面右下の通知領域の をクリックして音量つまみを表示し、 をクリックして にしてください。	コンピューター本体のマニュアル
	ディスプレイが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっております。	「省電力機能」（→ P.21）
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とコンピューター本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「２台のコンピューターを接続する」（→ P.31）

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	–
電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	–

7 日常のお手入れ

清掃する

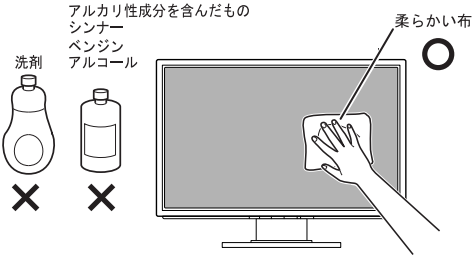
お手入れの前に本製品の電源を切り、電源プラグをコンセント、またはコンピューター本体のアウトレットから抜いてください。

重 要

- 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨材を含んだもの
  - など
- 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

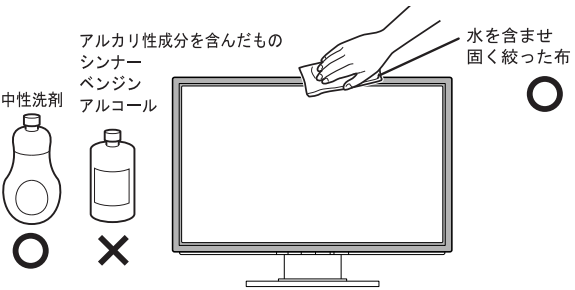
□ 画面 （液晶パネル）

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。



8 リサイクル

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

・法人、企業のお客様へ
本製品の廃棄については、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」（http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/）をご覧ください。

・個人のお客様へ
本製品を廃棄する場合は、弊社ホームページ「富士通パソコンリサイクル」（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

9 付録

アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

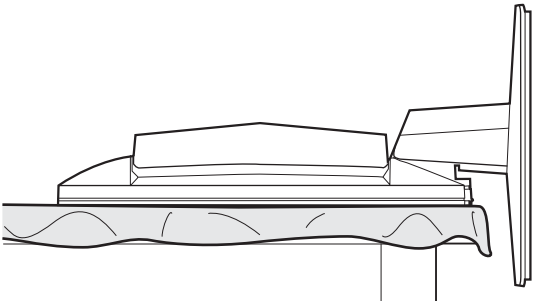
本製品はベーススタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。
プラスドライバー、マイナスドライバーをご用意ください。

重要

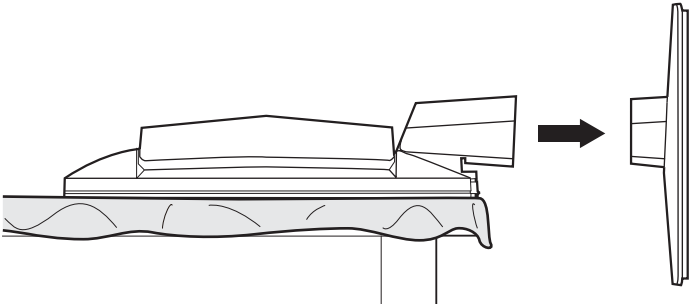
- 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
  - ・取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm×100mm である
  - ・M4×10mm のネジで、取り付けができる
  - ・6kg の重さに耐えられる
- アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。
- ネジは、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの（M4×10mm）を必ず使用してください。
- ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

1 すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。

2 カバーや液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。

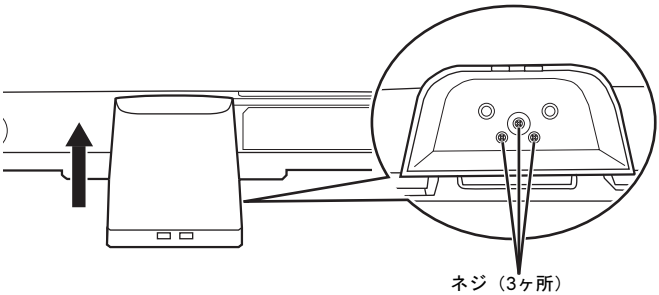


3 ベーススタンドを取り外します。



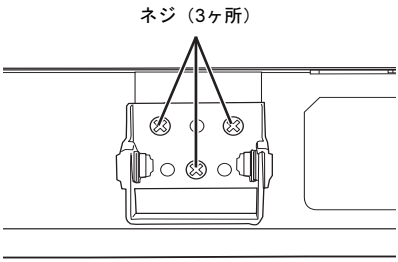
4 スタンドカバーを取り外します。

スタンドの内側にあるネジ（3ヶ所）を外して、スタンドカバーを外します。



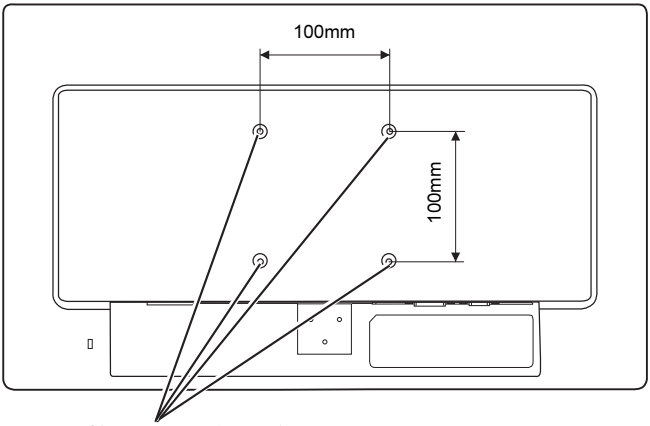
5 スタンド金具を取り外します。

プラスドライバーでネジ（3ヶ所）を外し、スタンド金具を取り外します。



6 本製品をアームや壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アーム、または壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アーム、または壁掛けキットに添付されているネジ 4 本（M4×10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

7 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

「2 台のコンピューターを接続する」（→ P.31）

POINT

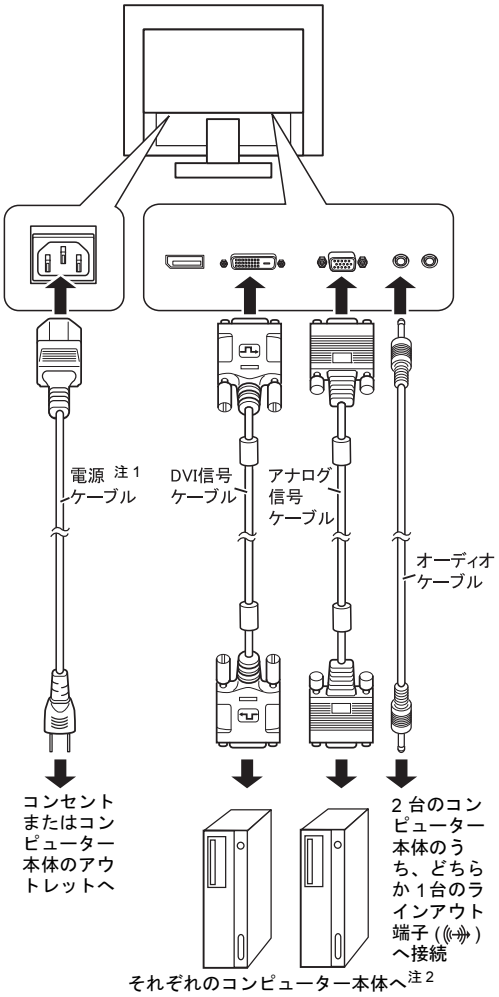
- アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

POINT

- アームまたは壁掛けキットを外してベーススタンドを使用する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」（→ P.28）の逆の手順でベーススタンドを取り付けてください。

2 台のコンピューターを接続する

2 台のコンピューターを接続するときは、次のように接続してください。



注 1 : 製品には、同梱されている電源ケーブルを使用してください。また、電源ケーブルは他の製品には使用しないでください。

注 2 : DVI 信号ケーブルおよびアナログ信号ケーブルの両方を 1 台のコンピューターに接続しないでください。

10 仕様

本体仕様

項目		仕様
入出力I/F（コネクタ）	アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン）注 1	映像信号：アナログ（セパレート同期信号/TTL） 0.7Vp-p（正極性）、75Ωインピーダンス
	DVI-D コネクタ（DVI-D）注 1	映像信号：デジタル（TMDS/HDCP対応）
	DisplayPort コネクタ	映像信号：デジタル（TMDS/HDCP対応）
	オーディオ入力端子（φ3.5 ステレオミニジャック）	音声信号：ステレオ
	オーディオ出力端子（φ3.5 ステレオミニジャック）	音声信号：ステレオ
表示部	画面サイズ	21.5型（対角54.6cm）
	表示寸法	476.064mm（H）×267.786mm（V）
	液晶パネル	TFTカラー液晶
	最大解像度（モード）	1920×1080ドット
	画素ピッチ	0.248mm×0.248mm
	表示色	1677万色
	輝度	250cd/m2（Typ.）
	コントラスト比	1000:1
	応答速度	5ms
	視野角	上下178°　左右178°
機能	入力対応解像度（モード）	640×480、720×400、800×600、1024×768、1280×720、1440×900、1280×1024、1680×1050、1920×1080
	チルト	下-3.5°～上25°
	壁掛け	100mm×100mm（VESA規格対応）
電源	入力	AC100V 50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート）
	最大消費電力	21W（オーディオ動作時）
	エコモード「オン」時消費電力	14W
	最小消費電力（省電力動作時注 2）	0.2W
	電源ボタン「オフ」時注 3	0.1W
音声部	最大出力	2.0W/ch
	スピーカー	ステレオ
	周波数特性	250Hz～20kHz
外形寸法		500.5mm（W）×212mm（D）×343.45mm（H）
質量		約3.0kg（本体）　約2.7kg（表示部）
使用環境	温度	5～35℃
	温度	10～90%（RH）（結露しないこと）

注 1：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注 2：コンピューター本体で設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、スピーカーを使用せず、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注 3 : 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントから抜くことで 0 にすることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に次のような表の解像度（モード）の調整値が登録されています（走査方式がインターレースの信号は対応していません）。

○ : 表示可能 ◎ : 推奨解像度（モード）

No	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）	
				アナログ	デジタル
1	720×400	31.5kHz	70Hz	○	○
2	640×480	31.5kHz	60Hz	○	○
3	640×480	37.5kHz	75Hz	○	—
4	800×600	37.9kHz	60Hz	○	○
5	800×600	46.9kHz	75Hz	○	—
6	1024×768	48.4kHz	60Hz	○	○
7	1024×768	60.0kHz	75Hz	○	—
8	1280×720	45.0kHz	60Hz	○	○
9	1280×1024	64.0kHz	60Hz	○	○
10	1440×900	55.9kHz	60Hz	○	○
11	1680×1050	65.3kHz	60Hz	○	○
12	1920×1080	67.5kHz	60Hz	◎	◎

重要

- 接続するコンピューターの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります（アナログ入力時）。
  その場合は、「画像調整」（→ P.16）の自動調整を行ってください。
  自動調整で調整しきれない場合は、「画像調整」（→ P.16）の「フェーズ」「水平サイズ」「水平位置」または「垂直位置」で調整してください。
  コンピューター側での微調整は行わないでください。
- 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- 1920×1080 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的に拡大表示しているためであり、故障ではありません。
- 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については、表示品位を保証するものではありません。

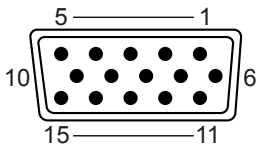
コネクタ仕様

■アナログ （ミニ D-Sub15 ピン ・ コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	R（映像）	(6)	GND	(11)	GND
(2)	G（映像）	(7)	GND	(12)	DDC DATA
(3)	B（映像）	(8)	GND	(13)	水平同期
(4)	GND	(9)	DDC+5V	(14)	垂直同期
(5)	GND	(10)	GND	(15)	DDC CLOCK

端子配列図



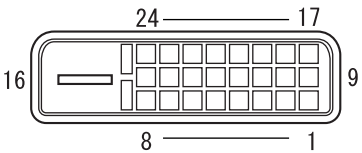
■デジタル （DVI-D コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	TX2-	(9)	TX1-	(17)	TX0-
(2)	TX2+	(10)	TX1+	(18)	TX0+
(3)	TX2 Shield	(11)	TX1 Shield	(19)	TX0 Shield
(4)	NC 注	(12)	NC 注	(20)	NC 注
(5)	NC 注	(13)	NC 注	(21)	NC 注
(6)	DDC/SCL	(14)	DDC +5V	(22)	TXC Shield
(7)	DDC/SDA	(15)	DDC GND	(23)	TXC+
(8)	NC 注	(16)	HPD	(24)	TXC-

注 : NC: 未接続

端子配列図

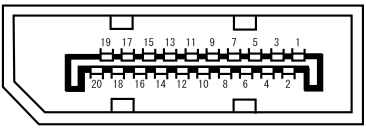


■デジタル （DisplayPort コネクタ）

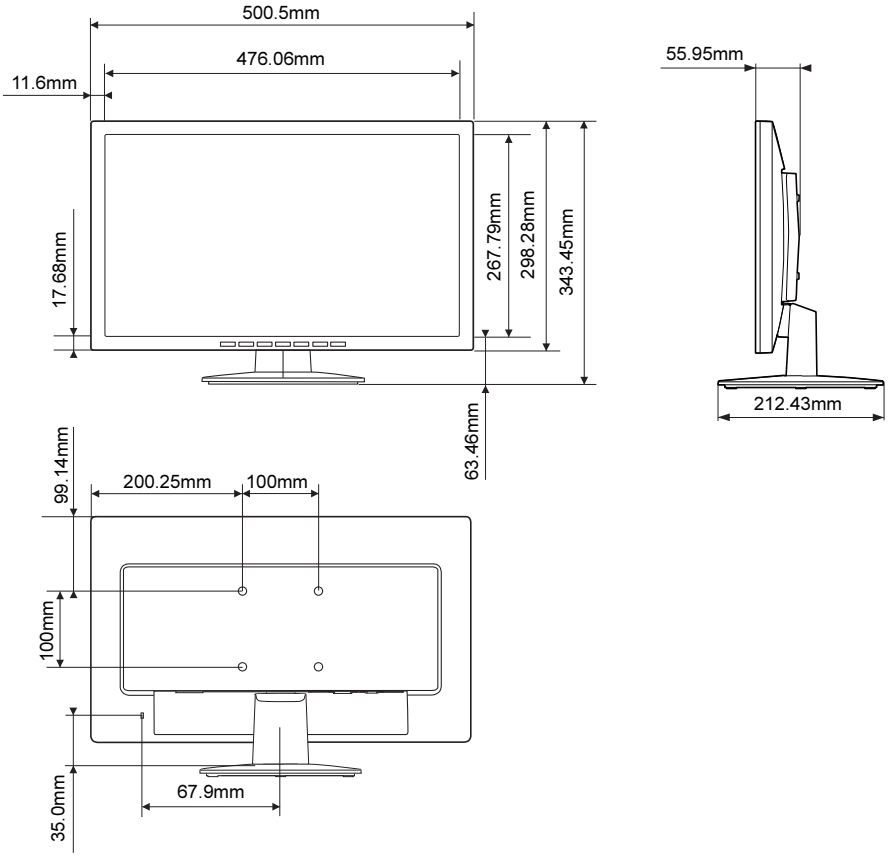
端子配列表

No.	信号	No.	信号
(1)	Main Link lane3(n)	(11)	GND
(2)	GND	(12)	Main Link lane0(p)
(3)	Main Link lane3(p)	(13)	Config1
(4)	Main Link lane2(n)	(14)	Config2
(5)	GND	(15)	AUX channel(p)
(6)	Main Link lane2(p)	(16)	GND
(7)	Main Link lane1(n)	(17)	AUX channel(n)
(8)	GND	(18)	Hot Plug Detect
(9)	Main Link lane1(p)	(19)	Return
(10)	Main Link lane0(n)	(20)	DP Power

端子配列図



外形図


500.5mm
476.06mm
11.6mm
17.68mm
267.79mm
298.28mm
343.45mm
63.46mm
55.95mm
212.43mm
99.14mm
200.25mm
100mm
100mm
35.0mm
67.9mm

DISPLAY E22-8T LED（VL-E22-8T）
DISPLAY E22-8TN LED（VL-E22-8TN）
DISPLAY E22-8T3 LED（VL-E22-8T3）
補足情報

B6FY-4101-03 Z0-00

発 行 日　2017 年 7 月
発 行 責 任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。